

謹賀新年

2018年 新春



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師
上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 花山 弘



新春特集
特集I・船井壮麗 (2~4面)
特別企画・辰巳院長にきく (5面)
会員投稿 (6~8面)

ご用命はアミスまで
◆医師賠償責任保険
◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
◆針刺し事故等補償プラン
◆自動車保険・火災保険
☎075-212-0303

元旦
一条の煌めきが漆黒の雲海を矢のように射り、やがて重なり四面を照らす。新しい年の始まりだ



富士山頂

日本最高所のトレッキングコース、約2.6kmのお鉢めぐり。手前の火口(大内院)には、残雪、左上に急坂の馬ヶ背、旧測候所、剣ヶ峰、右下に虎岩(獅子岩)が位置する

関 浩
(宇治久世)

本年もよろしくお願いいたします

京都府保険医協会 理事者・事務局一同

誰もが幸せになる国目指し 保険医運動の邁進を



理事長 垣田 さち子

清々しい良き新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。昨年は、アメリカ合衆国大統領にトランプ氏が就任、「アメリカが第一」と高らかに宣言し、これまで世界の平和・民主主義を実現するために、人々が地道な努力を重ね、積み上げてきたさまざまな取り組みからの後退を押し進めている。

ヨーロッパにおいても、20世紀に経験した二度の世界大戦への深い反省から出発し、世界史上画期的なヨーロッパ連合を成立させ、人種・民族の違いを超えて人類統合の理想に向かって歩みを進めてきた。しかし、イギリス国民はEUからの離脱を決め、独自の道を歩もうとしている。

アジアにおいても、いまだに分断されたまま国際社会から孤立し、無駄なミサイル攻撃を繰り返すことで自己主張を続ける国家の存在が、常に周辺国の緊張感を高めている。アフリカ、南アメリカ、中近東と地球のあちこちで止むことのない紛争の実際は日々リアルに伝えられ、私たちは、今や、世界規模の人類史の一端を担って生きていることを実感する。地球市民という言葉が少しも大げさでない日常語となった。

そんな中で、昨年のノーベル平和賞に「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICTAN)」が選ばれたことは、この上ない快挙であった。

アメリカによる人類初の原子爆弾投下の残虐性は凄まじいものだった。直接の犠牲となった広島・長崎の人々が中心となって絶え間なく続けられてきた「核兵器廃絶」を目指す運動、それを支える平和への熱い想いが、戦後72年目にして世界の共通認識として確認できたことを喜び合いたい。私たちが「反核京都医師の会」を結成し、長きに渡ってともにこの運動を担ってきたことを讀み合いたい。

日本は、二度の被爆に加えて、7年前には福島第一原発事故による放射能被害を経験した国だ。世界の人々に生々しい「核」の恐ろしさを知らせていく使命がある。変な理屈を並べ立て「核兵器禁止条約」に加わらない政府を持つことを憂える。

日々の診療の場で、医師としての仕事だけでなくとも治せない、病の背後にある患者さんの生活の荒廃状況を目の当たりにすることが増えている。今こそ、そうした現場にいる我々の声が、保険医運動が、力を発揮するときだ。そして、この国のあり方、政治のあり方そのものを変えていかなければならない。

本年も、理事・事務局一同、力を合わせて邁進致しますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。会員の皆様のご健勝と幸多き一年でありますよう祈念致します。

特集I 地域紹介 シリーズ17

船井 壯 麗

園部城門（園部高校）
明治になって完成したこと
から、日本の城郭史上、
最後の城と言われている



玄野 昌実氏
(船井医師会会長)

協会は、地域紹介シリーズ第17弾の「船井」座談会を南丹市国際交流会館で10月20日に開催。出席者は船井医師会会長の玄野昌実氏、仁丹良弘氏、吉田隆夫氏、廣野良定氏、佐藤史朗氏、オプザーバーとして垣田さち子理事長で、船井の地域医療の現状について語っていただいた。また、ゲストとして園部町元助役の垣村和男氏にお越しいただき、園部町のご自身の歴史や町の魅力を語っていただいた。船井医師会は南丹市と船井郡京丹波町が対象地域。2005年10月に丹波町、瑞穂町、和知町が合併して京丹波町に、06年1月に園部町、八木町、日吉町、美山町が合併して南丹市となった。

都市計画と保健事業

園部のまちづくりと私の関わり

6人の町長

垣村 和男 私は1957(昭和32)年に園部町に奉職し、40年の間、まちづくりに関わってきました。本日は、行政マンとして私が歩んできた道をお話させていただきます。98年に退職するまで、私は計6人の町長と仕事をしてきました。私が就職する2年前に、町は周辺の2村と合併して



垣村 和男氏
(ゲスト・園部町元助役)

6代目が、野中二三三さんで、広務さんの弟です。本日会場の国際交流会館も、国際交流推進を目的に自治省のプロジェクト事業の指定を受けて、建設されたものです。当時、国からは、こういったお城のような建物はだめだと言われま

急速に発展した 1960年代

1959年には、南丹病院の園部診療所が開設されました。同じ時期には、国道9号が開通しています。60年には、市街地の下水道事業が一気に始まりました。60年頃には、中学校の統合を進めました。小さな中学校を多く維持するのは大変経費がかかるということ



旧園部町の鳥「カワセミ」と
南丹市国際交流会館

したが、町長はごだわりを通過して今のような建物をつくりました。野中さんは79年から2006年に南丹市になるまで、7期町長を務められました。私は98年に退職していますので、最後の8年間は関わっておりません。



旧園部町の鳥「カワセミ」と
南丹市国際交流会館

水道の配管を終え、統合中学も竣工しました。65年には、町が農協に補助を出して有線放送の設備を整えました。当時電話の普及率がまだ低かった頃で

79年からは6代目の野中二三三町長のもと、いろいろな取り組みがされていきます。私は都市計画を担当しました。そして、あくる年の人事異動の時です。「総務課長は垣村」と言われたので、びっくりして、思わず立ち上がった。私はこれまで事業畑で仕事をしていたので、この頃には、簡易水道が整備されます。それまでは井戸水を利用してしま

た。市街地の水質はわりとよかったです。ところが、そういった事業も進められませんでした。また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

また、71年頃には園部の開業医の先生に町医、学校医をお願いするようになり

園部の魅力

垣村 園部の魅力としてまずあげられるのは、周辺地域と比べると、JRや道路網が整備されており、利便性が高い点があると思...

船井の医療の移り変わり

開業医は夜中 起こされるもの

玄野 仁丹先生は、垣村さんと同じ時代、園部を開業医という立場から見てこられたね。

仁丹 私は大学卒業後、京都第一赤十字病院に勤めました。当時は勤務医をしながら夜間開業ということに行かなくてはいけなかった。

救急車が行けない 家の往診

吉田 私は日吉町の出身でここで開業しています。父が急逝して帰ってきました。



仁丹 良弘氏

たがないので自分の車に患者さんに乗せて、第一赤赤まで走ったことがあります。

かつての往診と 在宅医療の違い

玄野 現在、医師会として力を入れていることのひとつが在宅医療です。

仁丹 最近、在宅医療の流れが大きくなっています。いろいろな面を考えても必要なことだと思います。

吉田 かつては往診が当たり前で、患者さんもお年寄りや高齢者の方が多いです。

玄野 独居のお年寄り、あるいは老老介護の方は、どうしても在宅に移れないケースが多いようです。

吉田 往診と訪問診療とがあります。往診は訪問診療は増えているので、定期的な診療に行き、病気が



日本最古の天満宮、生身天満宮

日本最古の天満宮、生身天満宮。医療行政も進んでいくにつれて、地域医療の重要性はますます高まっています。



吉田 隆夫氏

医療の状況は少しずつ変わっています。開業医も増えています。船井は医療費源も乏しいですし、我々開業医ももちろん歳を取っていきいって、これから先もいろいろな課題が出てくると思います。

(9)面からの続き

が進んだら、病院と連携して入院したり、施設入所したりする。そういうのは多

いですね。 仁丹 私らの頃は往診がほとんどでしたね。

佐藤 患者さんはできれば家で最期を迎えたいと思

っていますよね。けれども家族の事情などでそれができない。

吉田 家で看取るというのはとても覚悟のいることなんです。当初は家で見ていても、いざ病気が進行

医師会では「ミニミニ ケーシオン」を重視

仁丹 現在の開業医も、患者に対する考え方がずいぶん変わりましたからね。

我々の開業当時は、専門外でもなんでも診ましたから。今は分業時代で、地域でもきちつとした治療がで

していくと、とても家で見ることができなくなってしまう。

仁丹 年寄りがいったん病気がなった場合、家族は退職して面倒を見ること

ができるか、そういう難しさもある。

玄野 介護破産という言葉もありませんね。親の介護のために子が退職してしま

うと、たとえ親の病状が安定しても再就職が難しい。在宅でみるというのは大変なこと

きるようになってきました。

廣野 私たちが開業した時は、公職医の仕事に積極的に関わっていました。自

分の医療だけでなく町の仕事を。こむぎ山健康学園での事業で、年に何回か予防接種をしたり、そのあ

と基本検診が始まりました。疾病を早期に見つけて早期に治療しようというこ

「町民全員がヘルパー 資格を取ろう」

玄野 在宅関係の講演会や勉強会に行く、すごく

参加者が多いですね。しかし、話を聞いてみると「子どもには迷惑をかけたくない」とおっしゃる方が

すごく多い。家で過ごしたいけど、家族の足かせになるのは...と言われる。

吉田 それは介護保険の趣旨上、おかしと思うん



廣野 良定氏

野中二三三さんを交えて町政懇談会をやったり、それが転機になり予防接種の

法が変わったりしました。 仁丹 医師同士のコミュニ

ケーションが取れていましたね。私が入った頃には

医師会に「いんか」というのがあって、どこに行くのかわからない旅行もやって

いました。 廣野 家族を含めて親睦会を行ったり、けっこう仲

のいい医師会ですよ。船井医師会に入った時に、ものすごくあたたかいなあと思

いました。すぐになじめました。 仁丹 そういう中で地域医療についてお互い話

ができるわけですからね。 玄野 この制度は自立支援を

目指した保険なんです。もちろん、家族の希望も聞かないと

いけない。それはほんか病気で医療を受けている高齢の患者さんは、

うのは、まさに本末転倒だと思います。そういう意味では、介護保険制度が始まった当時、私がとてもよく

覚えていたのは、野中二三三町長が、町民は全員ヘルパー2級の資格を取

ろうと言われたことです。 玄野 確かに仲はいいです

よね。お互い知っている医師ばかりです。皮膚科、眼科も

できましたし、訪問診療をされている精神科のクリニックも

ありました。 廣野 介護保険制度開始の

当時、医師会としてどのようにか議論がありました。医療的な情報を介護関係の方

に提供しようという医師会セミナーを始めました。セ

ミナーは6年くらい続いたと思います。多業種連携という

ことが言われていますが、多業種で勉強会をやったのは、

この頃、南丹市に美山診療所というところがありま

す。その事務長さんが言っておられたのが、美山町

全域を一人の医師が回って在宅医療をするのは

現実的には無理だということです。どこかに一つ高齢者

施設を建ててみんなそこに入所できるようにして、そ

こに医師が行けば、全部対応できるし、ミニミニケ

ーションも図れる。そういう施設を作る方がずっとあり

がたいと言われていました。 廣野 私はもちろん訪問

診療もしているし、他職種や病院とも常に連携してい

ます。しかし、もちろん在宅も

とができたのか。プロフェッショナルの介護士には、50人に1人、100人に1人の医師しか配置しな

いとのことです。医療施設と呼ばせません。それ収入だ

って限られたものにならなくていいです。収入が多

い人はいいですが、ない人は介護保険だけで、どれだけの在宅医療が

まかなえるのでしょうか。 廣野 サービスを提供する

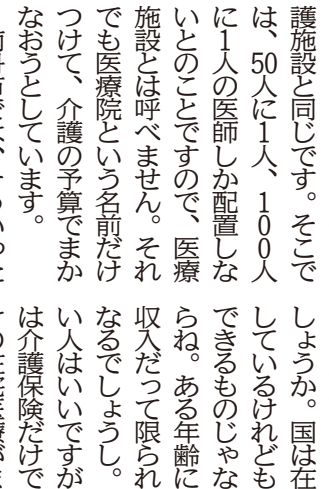
側の理論はかりが先行して、受ける側の認識が薄い

点数が違うのか。やっていることは一緒なのに、報酬

差をつけていることも疑問です。強化型と支援型と

普通の診療所とでなぜこれだけ違うのか。 廣野

無理解やろくなあ



垣田 さち子氏 (オブザーバー・協会理事長)

ていますが、これは今の介護施設と同じです。そこ

では、50人に1人、100人に1人の医師しか配置しな

いとのことです。医療施設と呼ばせません。それ収入だ

って限られたものにならなくていいです。収入が多

い人はいいですが、ない人は介護保険だけで、どれだけの在宅医療が

まかなえるのでしょうか。 廣野 サービスを提供する

側の理論はかりが先行して、受ける側の認識が薄い

点数が違うのか。やっていることは一緒なのに、報酬

差をつけていることも疑問です。強化型と支援型と

普通の診療所とでなぜこれだけ違うのか。 廣野

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

無理解やろくなあ

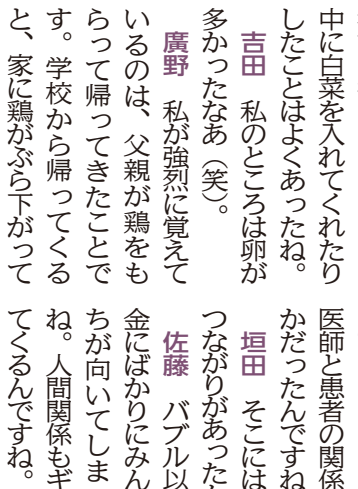
無理解やろくなあ



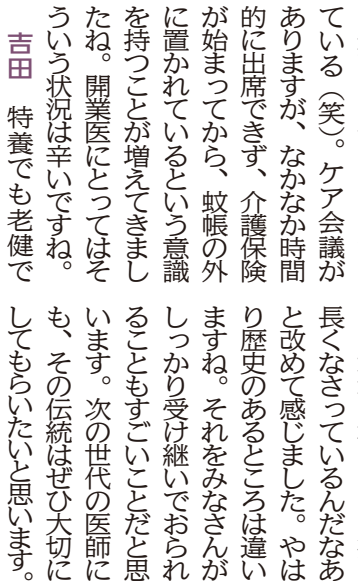
広域な地域の医療をカバーする美山診療所



佐藤 史朗氏



垣田 さち子氏 (オブザーバー・協会理事長)



廣野 良定氏

特別企画

辰巳院長にきく

南丹医療圏での医療提供充足目指し

地域の医療現場で抱える課題や実情を語っていただくシリーズ・地域医療をきく。第3回は、特集1の船井地区の地域紹介に関連し、拡大版として京都中部総合医療センターの辰巳哲也院長にお話を聞きしました。

医師不足と偏在が大きな課題

南丹医療圏における地域医療の課題について、辰巳院長はどのようにお考えでしょうか。

辰巳 医師不足、あるいは診療科偏在がこの医療圏にはずっと続いています。当院単体としてみれば80人ほどの医師がいますが、地域の最終拠点病院としては、充足しているとは言えません。また、医師だけでなく看護師不足も大きな課題の一つです。

診療科の問題でいえば、脳外科が休診状態です。非常勤で週2回ほど外来をお願いしていますが、入院患者さんがとれません。脳神経疾患は脳卒中や脳出血などにとどまらず、内科疾患に神経症状などを伴ったものが多い。こうした事例から、やはり脳外科医が不在というのは救急医療においてもマイナスだと感じています。



辰巳 哲也氏
京都中部総合医療センター院長
1983年、京都府立医科大学卒業。2004年より現職。専門は冠動脈および末梢動脈疾患のカテーテル診断・インターベンション治療、心不全・不整脈の治療、血管・心筋再生医学、動脈硬化の予防医学、心筋代謝・細胞生物学。

在宅医療支える病診連携を模索

京都府が13年に「地域における主な課題と対策」地域保健医療協議会における検討」をまとめている

医療が完了できるような状態にしていきたいですね。

もちろん、より高度な医療、3次救急などが必要な患者さんは、医療圏を超えて、その医療を提供できる医療機関へ搬送してもら

います。しかしながら、本来地域で提供できるはずの医療が提供できず患者さんの流出が続けば、医療圏の再編につながりかねません。

再編自体が問題だとは思いませんが、もともと南丹

は3年体制で3年目に内科を再度ローテーションして専門医試験を受けるとい

う流れになっています。京都府北部では医師不足・偏在が課題だと明らかになっ

ています。新専門医制度をきつちりと完結できるようにプログラムを組

み、なおかつ医師不足・偏在にも対応できるように人材配置が可能なのか。我々ももちろんですが、みなさん不安がっています。

医療圏は面積が広く、無医地区が3つ、無歯科医地区が4つほど存在します。ご自身で他所に通院できる患者さんはいませんが、今後高齢化が進む中、医療にアクセスできない患者さんが増加しかねません。そうした意味からも、やはり地域完結型の医療を目指すことが使命だろうと考えています。地域の患者さんに必要な医療を提供できる。それが私の願いです。

ただ、例えば循環器内科などでは600例を超える心臓や末梢血管のインター

ベーション治療を行って、府内においてもトップレベルの症例数でしょう。消化器でも大腸がんなどの症例数が増加しているし、なにより腹腔鏡手術数が増えている。高度な低侵襲の医療を提供できる体制が整っています。

私が院長に就任した際に、がん診療に力を入れていく病院でありたいと公言していました。

これに各科の医師が応えてくれて、がん治療においても地域に貢献できる体制が少しずつ進んできている

と思います。

こうした良い面は伸ばしていきたい。課題は少しでも解決できるようにみんなで知恵を出し合っています。その一つが、看護師確保特命委員会の結成です。なぜ看護師を確保できないのか、退職の理由はなにか、労働環境の改善などテーマごとにワーキンググループを作ることが大きな負担になっているように思っています。船井医師会や亀岡市医師会、在宅医療に力を注いでいる医師も、夜中などの患者さんの急変時などが負担になっていて数人でチームを組んでおられるようです。そこに当院がどうかわれるか。地域医療構想の根幹は在宅医療をどう支えるかだと思います。

辰巳 訪問看護ステーションを開設し、少しでも在宅医療に貢献できるように考えていますが、当院

で、南丹医療圏での京都府地域包括ケア構想における医療圏ごとの現状・課題・解決方向では、在宅医療の

が助長されないよう議論を行ってほしいと思います。

専門医資格を取得する医師のキャリアの観点から、地域医療を守る観点からも、地域医療を担うという

こともこの問題は考えないといけないと思います。非常に

難しいですね。

加えて、今後政府の働き方改革が進むと医師にも適用されるでしょう。もちろ

ん、医師も労働者です。メンタルヘルスを含む健康問題を管理していか

なければならぬし、過重労働ももつてのほかに考えて

います。それは大前提なのですが、一方で今のまま医師不足や偏在が続く中、労働管理をしっかりと守るこ

とだけに重点を置くこと

が、その点についていかが

とされています。それが限界で、棟の看護師も不足している状況です。

在宅医療について京都市の地区医師会会長と話す機会があったのですが、京都市においても在宅医療が課題と話されていて驚きまし

た。やはり、かかりつけ医療の改修などテーマごとにワーキンググループを作ることが大きな負担になっているように思っています。船井医師会や亀岡市医師会、在宅医療に力を注いでいる医師も、夜中などの患者さんの急変時などが負担になっていて数人でチームを組んでおられるようです。そこに当院がどうかわれるか。地域医療構想の根幹は在宅医療をどう支えるかだと思います。

辰巳 訪問看護ステーションを開設し、少しでも在宅医療に貢献できるように考えていますが、当院

で、南丹医療圏での京都府地域包括ケア構想における医療圏ごとの現状・課題・解決方向では、在宅医療の

が助長されないよう議論を行ってほしいと思います。

専門医資格を取得する医師のキャリアの観点から、地域医療を守る観点からも、地域医療を担うという

こともこの問題は考えないといけないと思います。非常に

難しいですね。

加えて、今後政府の働き方改革が進むと医師にも適用されるでしょう。もちろ

ん、医師も労働者です。メンタルヘルスを含む健康問題を管理していか

なければならぬし、過重労働ももつてのほかに考えて

います。それは大前提なのですが、一方で今のまま医師不足や偏在が続く中、労働管理をしっかりと守るこ

とだけに重点を置くこと

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

新専門医制度が

医師不足助長しないか危惧

地域医療構想調整会議

で辰巳院長が「医師不足・医療資源不足等について議論にあげる必要がある」と発言されたことが印象的

です。地域の開業医の先生方と、顔の見える関係を構築したいといういろいろな会合に顔をださせてもらって

います。当院は17年度の重点目標において、1点目で医師・看護師の人材確保、2点目で地域の医師と顔の見える関係の中で地域医療支援病

院となる目標を掲げています。できれば病院のすべての科の医師に、地域の医師との関係を構築してもら

い、病診連携のさらなる強化を目指したいと考えています。そして、この地域で

医療が完了できるような状態にしていきたいですね。

もちろん、より高度な医療、3次救急などが必要な患者さんは、医療圏を超えて、その医療を提供できる医療機関へ搬送してもら

います。しかしながら、本来地域で提供できるはずの医療が提供できず患者さんの流出が続けば、医療圏の再編につながりかねません。

再編自体が問題だとは思いませんが、もともと南丹

は3年体制で3年目に内科を再度ローテーションして専門医試験を受けるとい

う流れになっています。京都府北部では医師不足・偏在が課題だと明らかになっ

ています。新専門医制度をきつちりと完結できるようにプログラムを組

み、なおかつ医師不足・偏在にも対応できるように人材配置が可能なのか。我々ももちろんですが、みなさん不安がっています。

特に北部の病院はすべて

の診療科を備えていない場

も、今まで以上に医師不足

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

が、その点についていかが

私の趣味

私の晴耕雨読

岡田 勝彦 (宇治久世)

私の晴耕とは、晴天いや少々の雨でも田畑ならぬゴルフ場のラフ、フェアウェイ、バンカーを耕すことです。雨読とは静かに読書するのではなく、下手なゴルフ川柳とピアノとボイストレーニングに励む一日のことです。

まず晴耕について、ゴルフを始めたのは大学を卒業して3年目頃からでした。いつも後悔するのが、あの時どんなに多忙でもプロのレッスンを受けていれば、もう少し格好がサマになり、もっとスムーズに上達できたのではないかと思ったり、時すでに遅しの後悔の日々です。

私のプレススタイルは歳

とともに進化でなく退化していき、飛距離も徐々に落ちて、以前詠んだゴルフ川柳で「口癖は昔はあの松超えたのに」と嘆き、距離が落ちてくると「飛距離よりそれより寄せとパッやで。次のショット見ても、絶対失敗しよるはずや」「ほーら、言った通りやろ」「大ダフリやな、ほ

ほかのゴルフ川柳で直木賞作家の難波利三さんの笑評が評判の一句を紹介いたします(以前ゴルフ雑誌等で掲載されました)。「カラスまで 馬鹿にしている 大ダフリ」カラスはミスショットすると、実際、嘲笑いするような甲高い声で啼いて、毎日多くのプレーヤーを空から高見の見物客

去年の6月、我がが宇田家の菩提寺は京都市伏見区醍醐の浄土宗無量寿山西方寺の先代住職遷化(僧の他界)の連絡があり、私も檀信徒代表でお礼の言葉を述べることになった。大正15年寅年生まれで子年の私より2周りで、享年87歳で他界した5年生まれのお母とは同級になる。享年92歳

であれば、現在の男性としては大往生である。総本山知恩院をはじめ伏見教区から法類の僧侶の参集も多く、鐘声・読経の声も賑々しく、荘厳な雰囲気であった。他の総代とともに通夜・葬儀参列者への挨拶役を分担し、頭の中では急きよまめた文言を繰り返していた。葬儀の後、謝辞



(写真1) 自主制作CD "想い出のOLDIES I・II"



(写真2) 花は咲く、を熱唱

元気ナガラに遺影の撮影!

私のすすめる

宇田 憲司 (宇治久世)



宇田憲司 満68歳男性、2017年9月24日(日) 宇治橋通りのサイトー写真館にて撮影。万が一の時にすぐ役立つが、まだその予定はない。

易首架け袈裟に真言宗用の数珠をかける予定であっ

た。その数珠は、2015年10月17日(土) 祇園石段下の祇園会館で京都一日先行上映の「医者先生」試写会時、すぐ傍の「京念珠せ

飾つてある(写真)。

とにか、最近の不況で客足減少から倒産せぬよう写真館の経営維持向上にも協力して、パスポート用の10年毎とは言わず、その間に1〜2回、3〜4年毎に、着飾りながら早い目に美しい遺影などを撮りに行くことはありませんか。

しかし、みな遺暦を過ぎた

もつつがなく、京都市中央斎場東山浄園まで一緒に、茶毘に付す13時09分の点火まで見送った。

ところで、遺影の写真を

にや」で買い毎日かけていたが、折しも中紐が切れ修理依頼中で、三女の奈々絵からあずかった真珠の首飾りをその代用に使うことにした。子どもたちの成人後は、カメラも手にせず、自分の写真もなかなか撮れず、写真館にでも行く必要がある。プロの技はやはり確かで、その写真はなかなか美しい。10年後にはまたサインとくるやとも知れぬと気に入る、額縁に入れ

持ちが解るような気がして、その美しさに少しは目覚め始めたようである。繁華街を歩きながら、一人ではまだ心細いが、複数でいるとつい装飾品店に入ってみて、冷やかに店員に質問してみたり、そんな楽しみを見つけた今日この頃である。

土曜日の午後、8人が神戸に集合、車2台に分かれて明石海峡大橋と淡路島、鳴門海峡大橋を通過して徳島県に入り、翌朝8時過ぎに宿に泊まり、翌朝8時過ぎに出発、11時ごろ登山口の見ノ越に到着しました。連休中、駐車場はいっぱいでしたが運よく2台とも駐車することができました。ここから登山することもできますが、みな遺暦を過ぎた

た。この記事が読まれているところ、2017年の忘年会は数々の弾き間違えにもめげず、冷や汗を掻きながらなんとか3曲を弾き終えていることでしょうか。

私の趣味

アラ還の登山

笠松 美宏 (中京西部)



剣山から見る四国の山並み

私には取り立てて自慢できるような趣味や持ち物もありませんが、数年前から

毎年大学のワンダーフォーゲル部で同期だった仲間と、山登りと温泉入浴を兼ねた旅行をしているので、そのことを書きたいと思

と岩からなる登山道を一步一步踏みしめて登ると、久峰で標高1955m、日本百名山の一つ)に行っていました。仲間の中には百名山のうちすでに77座を一人で登った者や、メタボリック

と岩からなる登山道を一步一步踏みしめて登ると、久峰で標高1955m、日本百名山の一つ)に行っていました。仲間の中には百名山のうちすでに77座を一人で登った者や、メタボリック

身でもあり無理をせず、リフトを使って約15分で標高1750mの西島駅に到着、そこから頂上まで尾根道コースを通過して片道40分の登山を行いました。当日朝の出発時は曇天で山にもガスが掛かっていましたが、幸運なことに私たちが登るころには雲が去り快晴の登山日和になりました。ごつごつした土

私の趣味

enjoy walking!

近山 達(乙訓)



walkingが趣味の近山氏。医院にて

開業して間がない私にとって、お金をかけずにできる趣味として1年前からwalkingを行っている。右手で自分の腹をさすりながら話す癖を当院のスタッフに指摘されたことがきっかけとなった。ポッコリと

を感じていたこともあり、重い腰を上げて、まずは昼間の空き時間に診療所の近辺を歩くことから始めてみた。元々スリムではない上に、開業後のストレッチと運動不足ですっかりメタボ化した体型をどうにかしたいと思っていたところでもあった。忙しくて歩く時間がない。忙しくて歩く時間がない。忙しくて歩く時間がない。

私の宝物

受け継いだトロンボーン

山本 勇治(下京東部)



診療所の新年会で前座をつとめる

もあり、慣れ親しんできた街だと思っていただけに意外であった。新たに会おう街並みの景色を楽しみながら市街地を歩くと、懐かしさを感じることが多い。歩くと、懐かしさを感じることが多い。歩くと、懐かしさを感じることが多い。

る。そのことを患者さんに伝えながら、私自身も作りに受け継いだ年代物のトロンボーンだ。家庭教師だった京響団員から譲り受けたもので、もとは米軍の軍楽隊団員が使っていたものと聞いている。アメリカのトロンボーン専門メーカー、オールズ製で、ボディの輝きは銀のよう、音はきほいぶし銀のよう、音はきほいぶし銀のよう、音はきほいぶし銀のよう。

初夢

杉山 哲也(中京西部)

新薬の効果めきめき夢は、手術後の一喜一憂。四温来る未熟児の眼底のぞくさくら冷手術後の夢など語り雲の峰極月や顔見るだけの診察も気掛りの患者を胸に年つまる買手つき生簀の河豚のふくれたる適塾にのこる大志と隙間風解体新書覗くマスクをはづしけり網膜の細胞ふやし春を待つ

盆暮れや年度末の公共工事の多さには大多数の国民がうんざりしており、約9割の国民はその理由を知っています。盆暮れの場合は失対事業としての性格もあり、生活困窮者への賞与的な面があります。暑さ寒さの厳しい中で汗と埃にまみれた除草作業の人達は本当に苦勞なことで、交通渋滞も何とか我慢できません。許し難いのは年度末の不要不急の公共工事の数々で、全国の市町村で同様の光景が繰り返されています。日本の予算システムは年度内使い切りが原則で、

エッセイ

無駄な公共工事の全廃を

西村 茂(福知山)

同年度内に事業を完遂しておかないと次年度の関連予算が減額されます。どうしても使い切れない場合は埋蔵金などの裏金になり、帳簿上の収支を合わせているのではないかと、国民の大多数が苦々しく思っています。ごまかした些細な工事の中には長年放置されている懸案のものがあることもあり、このような機会でもなければ永久に放置されてしまふ有難い事業もあります。しかし、大半はそんな

に傷んでもいない道路や歩道を掘り返して大量の産業廃棄物をつくり出した上に、年度末の繁忙期に大渋滞をきたしています。雪国では降雪の少ない年には除雪費が余り、これに拍車がかかっています。該年予算を使い残した場合は、節減に対する報奨金を逆に交付するような制度は創れないものではないでしょうか。この問題に早く誰かが本気で取り組まないと、莫大な無駄使いが永久に続きます。諸外国の実情調査や代替案の提案も必要です。保険医協会で狼煙を上げて、国民運動に展開してはどうでしょうか。

私のペット

今では家族の一員に

柳川 哲二(綾部)



降り積もる雪の中に佇むと、消えていき、翌日また朝早く、玄関に座っていました。こんな日が何日もつづきました。段ボール箱で小屋を作つてやると、そこに住むようになりました。雪の日は炬燵を入れてやりました。とら猫なので「とら」と呼ぶようになりました。今では家の中に入れて一緒に暮らしています。

凍りし身に、天女の胸の熱きかな 迷い猫のとら



いざ行かん

栗原 眞純 (伏見)

いざ行かん寒さも雪も何のその、毎年1月中旬の日曜日、東山区三十三間堂で、成人式を迎える全国の弓道愛好者が本堂西側の射場に集まり腕を競い合う「通し矢大会」が行われます。

一生に一度しかないこの日のための晴着に身を包んだ何百人もの新成人女性を眺めることのできる、年に一度のまたとない絶好のチャンスとあって、カメラ持参の人達が多く集まります。

年々大会が盛んになり、集まってくる選手が増えるにしたがって、折角行っても、写真撮影はおろか、弓を射るところを満足に見ることもままならない状態になってきました。

しかし、パソコンで「通し矢」で検索するだけで無数の写真を見ることが出来ます。このような雪の中の写真一枚では到底見足りない皆様、パソコンやスマホを有効活用になって下さい。



なぜあの人にオーラを感じるのか

辻 俊明 (西陣)

大物俳優が舞台にあがる時、パッと周りが明るく照らされるように感じることがある。その俳優はもしかしたら不遇な幼少期を過ごし、苦節の連続で、そのなかでも負けずに頑張ってきたと栄光をつかんだのかもしれない。あるいは一見順調に見える人生でも、誰も知らないところで大変な努力をしていたのかもしれない。あんなに頑張ったのにどうしてもうまくいかず自暴自棄になってしまった過去や、そんな中、意外な人から助けられた経験

など、すべてがギョッと詰まってオーラとなって表れる。背負ってきたものが大きければ大きいほど、オーラも大きくなる。観客も真剣に生きてきた人だけが、

それを自分の人生に重ねることが出来る。オーラとは存在感である。

ラーメン店でラーメンを選ぶとき、なんだか知らないけどネギラーメンに目がくぎづけになることがある。頭で考えると味噌なのだけれども、なぜか心はネギにいつってしまう。このな

「海を見ていた午後の歌詞に出てくる「ドルフィン」の看板

をオープン。「認知症を知ることが出来る」「仲間と情報交換ができる」「専門家に相談できる」と、毎月第2日曜日に開催しているそうだ。

このカフェでは、主催者の北村裕展医師がエレキギター、中路裕医師(西京)がアコースティックギターを片手に、ユニット「裕裕マーケット」を組んで毎回曲を披露していると聞き、お邪魔することにしました。カフェで演奏するようになって早や一年以上のこと。レポート

「あの素晴らしい愛をもう一度」を弾き語る裕裕マーケット

「あなたが好きです」なら、そっちが真実だ。

清少納言が春の夜明けに東山連峰で見たものや、荒井由美さんがドルフィンでソダ水の向こうに見たもの、目撃に乗ったヴィーナスの戸惑いの表情などもみんなオーラだ。それらのオーラが私たちを包むとき、そこでは時空はなくなり、この世とあの世の境もなくなり、私たちの心はその人たちの感じたセンチメンラが見える。

先生の医院拝見! 北村内科診療所(西京)

認知症カフェで演奏披露 参加者と歌って楽しむ!

北村内科診療所では、2年ほど前から地域の人たちを対象に「ゆめじカフェ」

をオープン。「認知症を知ることが出来る」「仲間と情報交換ができる」「専門家に相談できる」と、毎月第2日曜日に開催している



初詣にいかがですか

戊年の守護神 鳴滝の妙見さま

1628年に創建された三寶寺(京都市右京区鳴滝)。境内には人間の運氣と方位、寿福を司る北辰妙見大菩薩が祭祀の妙見堂があります。「洛陽十二支妙見」の「戌の妙見さま」として開運厄除け、方除け、寿福の神様として信仰されています。162号線から脇道に入りますが、すごく狭いのでご注意ください!